

海域全般にリゾソレニアやギナルディア等、多種の珪藻類が確認され、特に別府漁場以西で多い状況です。窒素は、大阪湾漁場で栄養塩がやや低下していることや降雨による栄養塩供給がない影響で、明石海峡部の海水の影響が見られる林崎新漁場以東で概ね $1 \mu\text{g at/L}$ 台、陸水の影響が見られる海域地先で $3 \sim 9 \mu\text{g at/L}$ 台、その他の海域沖筋で $1 \mu\text{g at/L}$ 以下の値となっています。

(水温) 漁場内平均 8.8°C (平年比 0.7°C 、昨年比 0.6°C ともに低い)。 (塩分) 平均 32.87psu 。前回 (32.82) より 0.05psu 高い。
(珪藻、栄養塩ほか)

別府漁場以西ではリゾソレニア・ギナルディアに加え、キートセロスが多く確認された。また、ユーカンピアは海域東部では、ほとんど確認されませんでしたが、高砂漁場以西ではやや多く (20細胞/ml) 確認された。

海域地先 (③' ⑤⑥)、高砂漁場⑧では、陸水の影響が強く見られ、アンモニア態窒素の値が高くなっていた。

	前回値	今回値	平年値	昨年値
水温	9.1	8.8	9.5	9.4
窒素	2.7	2.2	3.0	3.7
リン	0.37	0.30	0.39	0.52

(1/29) (1/31)

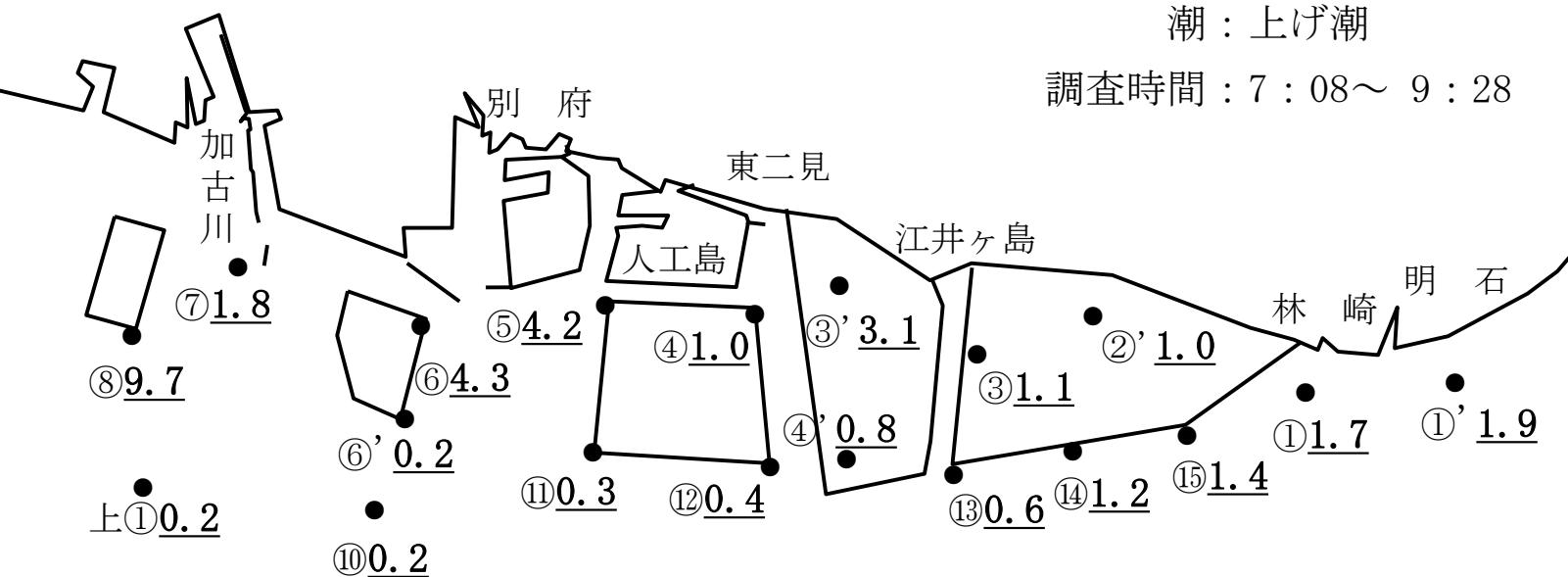
西播地先	水温	8.6°C	伊保 沖	水温	8.4°C
伊保 地	窒素	0.1		窒素	0.1
	リン	0.23		リン	0.23
白浜 地	水温	8.5°C	白浜 沖	水温	8.8°C
	窒素	0.2		窒素	0.3
	リン	0.21		リン	0.26

2026年2月3日調査

栄養塩 (窒素) 図

潮: 上げ潮

調査時間: 7:08 ~ 9:28



水温図

